

令和4年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業

事業化に取り組む活動団体 意見交換会 発表資料

活動団体名：徳之島世界自然遺産保全・活用検討協議会

活動地域：鹿児島県 徳之島（世界自然遺産登録地）

活動におけるテーマ・キャッチコピー

自然と文化に向き合い、

人生を豊かにする時間に出会える島





奄美大島、徳之島、

沖縄島北部及び西表島

令和3年7月26日

世界自然遺産に登録



徳之島について

- 鹿児島県・沖縄県の間にある離島 大都市圏との航空直行便は無し。
- 人口約2万2千人 年間入込客 約12万人
- 主な産業 農業・畜産業



世界自然遺産登録

- 世界自然遺産登録に向けて、外来種問題や希少種の盗掘・盗採等に取り組む。
- 一方で、地域住民の多くは世界自然遺産に関心がなかったのが事実。
- 行政と民間の間での温度差もある中、世界自然遺産登録を迎えた。
- 自然や文化、島の魅力を紹介する仕組みが十分に整っていなかった。

目指す地域の姿

- 観光地をふらっと立ち寄るだけの観光だけじゃもったいない。
- 島口、島唄、人との関わり合いを通じてこの島の空気感を感じていただきたい。
- 島を体験できるコンテンツの整備、ガイドという職業を確立したい。



**島に暮らす人、島を訪れる人が
自然と文化に向き合い、人生を豊かにする時間に出会える島でありたい**

徳之島のエコツアーの目指す姿

徳之島の文化・自然環境を深く理解した“徳之島ファン”を生み出すコンテンツの拡大

奄美群島 エコツアーガイド制度

収益をあげられる
認定・登録ガイドの増

認定ガイド

ガイドとしての独り立ち
に自信がない

登録ガイド

ガイド業に興味

- ・初期段階育成研修終了生(R5より制度移行予定)
- ・コンテンツは持っているが実装出来ていない方々
- ・ガイド業に興味があるが始め方が分からない方々

技能向上

参加

参加

Ⅱ プレツアー実施支援

① 誘客・PR手法開発支援に係る 専門家派遣支援

高
本気度

- ・支援後、登録ガイドとして活動する意思が有る
- ・既登録ガイドは事業化しガイド営業の意思が有る
- ・実装に向けた体制(保険・備品等)が完備されている
- ・レスポンスブルーツリズムや環境負荷低減への配慮がある
- ・誘客したいターゲット層が明確であり、そのターゲットに対し積極的に誘客する意志がある

I 基礎講習

① リスクマネジメント講習

- ・ツアー実施にあたっての危機管理について学び、安心・安全なコンテンツ提供を目指す

② エコツアーの社会的責任講習

- ・エコツアーガイドやコンテンツに求められる社会的責任や地域貢献の事例を学ぶ

③ ツーリズム造成基礎講習

- ・コンテンツ作り、ツーリズム造成の基本を学ぶ

④ 徳之島に関する基礎講習(座学)

- ・徳之島の自然や文化についての基礎情報を学ぶ

⑤ 徳之島に関する基礎講習(WS)

- ・徳之島のことを自らの言葉で伝えるためのワークショップを実施しガイドングスキルの向上を目指す

継続できるスキームの確立

支援目標

ツアーにより収益をあげ
地域社会・地域経済に貢献できる
ガイドの育成

どうする？

実装支援
創業前支援

なぜ？

・ガイド業では十分な収入がない
・興味はあるがどうやっていいかわからない

課題

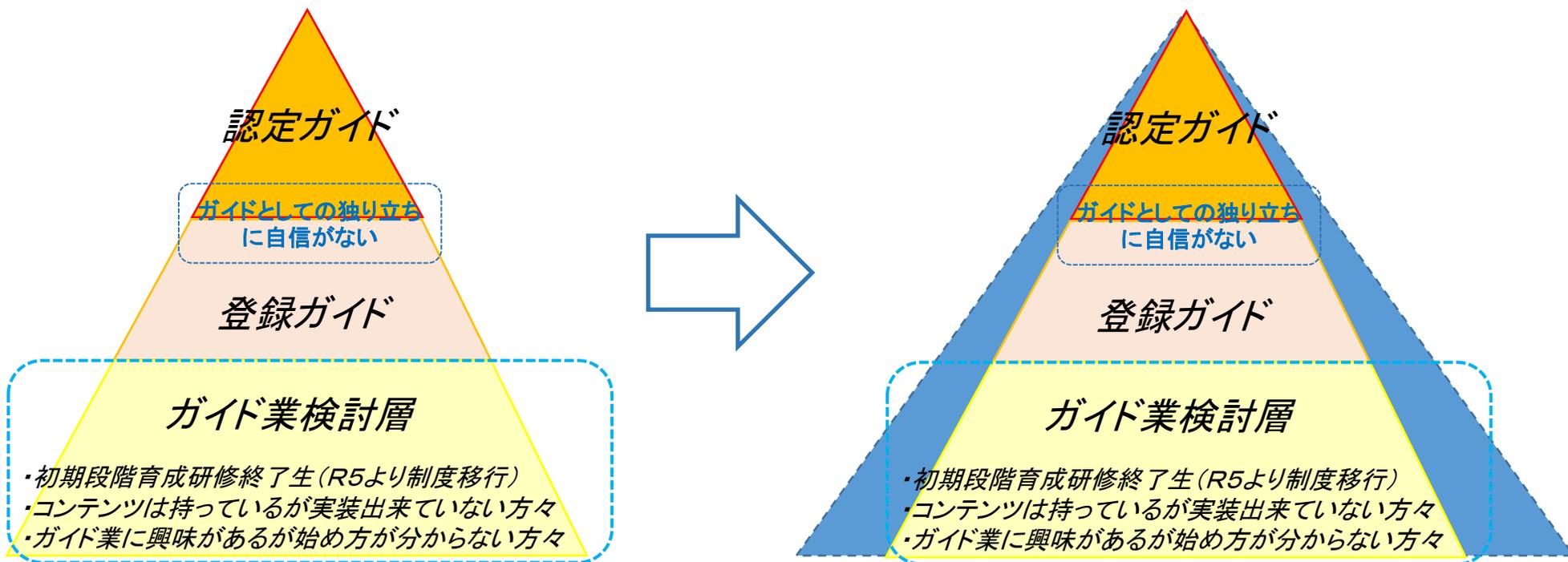
・ガイドの高齢化
・自立、実装出来ているガイドの不足
・初期段階研修終了生が登録ガイドに繋がっていない

徳之島のエコツアーの目指す姿

徳之島の文化・自然環境を深く理解した“徳之島ファン”を生み出すコンテンツの拡大

徳之島ファンを創出するガイドを数多く生み出し安定的にガイド業が推進される仕組みを作る

ガイドに携わる人材の裾野拡大



基礎講習とプレッシャーをガイド実施不安層に提供することで、ガイドとしての独り立ちを図り、徳之島ファンを作るガイドを育成することで、ガイドに携わる人材の裾野の拡大と登録・認定ガイドの人数の増加を狙う

今年度の取り組み

事業方針	エコツーリズムの推進・サポートのしくみ作り
事業の あらすじ・ ストーリー	昨年度、観光コンテンツの開発・拡充に取り組む個人・団体に対して観光コンテンツ開発・拡充支援を実施。今年度、徳之島のエコツーリズムをより継続的・発展的に推進するため、ガイド業の創業前・事業化支援体制の構築に取り組む。
今年度の 取組	<p>I 基礎講習支援 対象：ガイド業検討層 内容：①リスクマネジメント講習 ②ツーリズム造成基礎講習 ③徳之島に関する基礎講習</p> <p>II プレッチャー実施支援 対象：ガイド業事業化推進層 内容：プレッシャー実施支援 ①コンテンツの見える化作業支援 ②誘客・PR手法開発支援 ③フィードバック支援</p> <p>I、IIの支援体制スキームを構築し、継続的なエコツーリズムの推進体制を目指す</p>
進捗状況	<ul style="list-style-type: none">○専門家との定期的なミーティング○昨年度コンテンツ造成を支援した団体との意見交換会を実施（7/13実施済み）○既存団体との地域調整○講習実施に向けた調整

今後の課題

- ・地域独自のストーリーの組み立て方
- ・レスポンシブルツーリズム（責任ある観光）や環境負荷低減への取り組みをどうコンテンツに組み込んでもらうか。
- ・なにをもって、レスポンシブルツーリズムと言えるのか（具体的な指標や先進事例等）
- ・誘客、PR支援方法の開拓（旅行会社等とのつながり）
- ・行政側とプレーヤー（ガイド）の架け橋となる中間支援組織やコーディネーターの育成